

令和４年度「先進的省エネルギー投資促進支援事業費補助金」
「先進事業」における『先進設備・システム』公開用概要書

製造会社情報（コンソーシアムの場合は、幹事社）

設備/システム名	PUC17-H2水素焚ガスタービンコージェネレーションシステム
型番	PUC17-H2
会社名	川崎重工業株式会社
本社所在地	〒650-8680 神戸市中央区東川崎町1丁目1番3号
会社WEBページURL	https://www.khi.co.jp/
製品紹介ページURL	https://www.khi.co.jp/energy/gas_turbines/cogeneration.html

製品についてのお問い合わせ先

連絡先	川崎重工業株式会社 エネルギーソリューション&マリンカンパニー 営業本部 問合せ用ホームページURL https://www.khi.co.jp/corporate/contacts/
-----	---

登録設備情報

導入可能な主な業種・分野	E. 製造業		
導入対象となる分野・プロセス	・工場等の製造プロセス等 ・蒸気等の熱を多量に使用する繊維・化学・食品および製紙業界		
導入事例の省エネ量（原油換算：k1）	7,257	k1/年	
工場・事業場当たりの想定省エネ率	—	%	
設備・システム当たりの想定省エネ率	100.0	%	
導入事例における費用対効果（年間）	66.0	k1/千万円	
1台又は1式当たりの想定導入価格（参考）	個別対応	円	
保守・メンテナンス等の年間ランニング費用	個別対応	円/年	

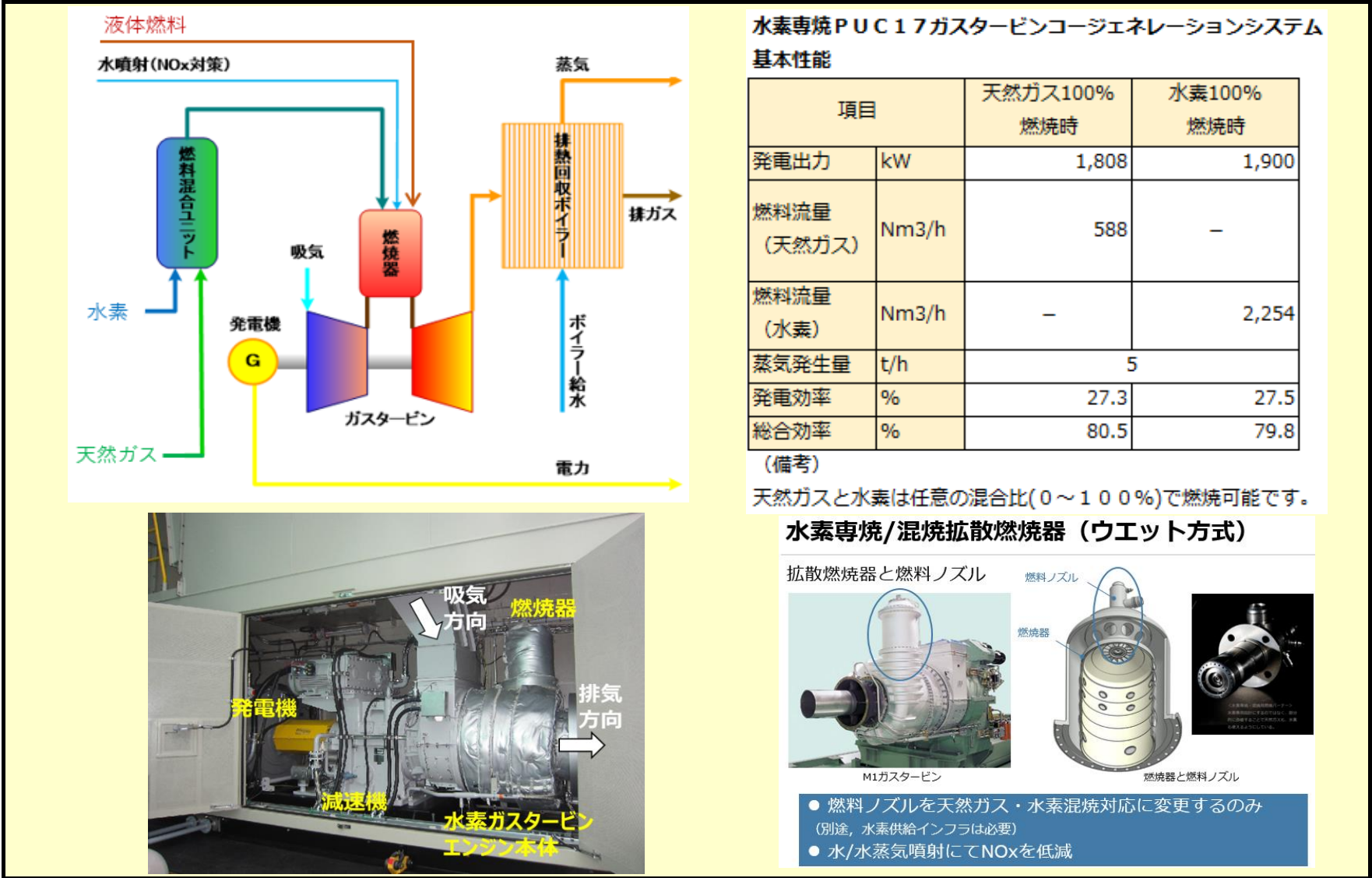
製品・システムの概要

脱炭素化へのソリューションとして、利用時にCO₂を排出しないクリーンなエネルギーである“水素”の活用が注目されており、脱炭素化を達成するためには水素の導入量拡大が必須である。 そこで川崎重工業は、脱炭素社会の実現に有効である2MWクラスの水素焚ガスタービンを製品化した。 本製品は、排熱ボイラと組み合わせることで電気と熱（蒸気）を同時供給可能なガスタービンコージェネレーションシステムとしても活用することができる。 燃料として水素と天然ガスを任意（0～100％）の混合比で使用可能であり、ウエット方式燃焼器によるNO_x性能としては国内の大気汚染防止法で定められているNO_x規制値70ppm（O₂=16％換算）を十分にクリアできる。

先進性についての説明

✓従来の天然ガス用拡散燃焼器に対して、水素対応拡散燃焼器を開発した。 ✓水素と天然ガスを任意（0～100％）の混合比で燃焼可能。 ✓ウエット方式燃焼器の採用により、国内の大気汚染防止法で定められているNO_x規制値を十分にクリア可能。 ✓再生可能エネルギー余剰電力による水電解水素、副生水素、未利用資源である褐炭からのブルー水素などの有効活用に資する。
--

製品・システムの概要・イメージ図



導入事例の概要・イメージ図

